

建築工学科の生徒にインタビュー！

建築工学科の方に、授業や学校生活についてお話を伺いました。

○インタビューを受けてくださった方

竹島 なつみさん

建設工学科（建築類型）の3年生。学習と部活動の両立を頑張った。東京の建設会社に就職予定であり、活躍の場を広げようとしている。

飯野 凧紗さん

建設工学科（建築類型）の2年生。学習に意欲的に取り組み、勉強と部活動を両立させ努力している。

※令和4年度入学生が2年次より、「建築工学科」に名称を変更。

どんなことを勉強するの？

ー学んでいる専門教科の中で、特に好きな専門教科について教えてください。

竹島 建築計画です。

建築の歴史を学ぶ時色々な国の建築物が見れて楽しいからです。

飯野 建築構造です。

建築物の各部の構成や機能、建築物に用いられる材料の特徴性能、また部材を組み合わせて一つの建築物にする方法などを学びます。私が建築構造が好きな理由は、今まで外からしか見ることができなかった建築物の内部が詳しく知ることが出来るからです。私たちが普段住んでいる建物はどうして地震に強いのか、どういう組み立て方をしたらより強くなるのかなど知れば知るほど勉強が楽しくなります。

ー実習の中で、特に楽しかった実習について教えてください。

竹島 建方実習です。

建物の土台から壁板、床板まで1から実際に建てる実習です。

今まで習ってきたことを実際に行ったり、目で見ることで、より理解を深めることができます。なにもなかった場所に家が建っていく様子を見ていくと、達成感を感じることができます。

飯野 木材加工です。

木造の屋根の部分を十分の一のスケールで作りました。何も描かれていない木材に、中学生の時は鉛筆などで印をつけていたと思うんですけど、ここでは墨付といい、墨で加工のための印をつけていきます。墨なので、一度つけたら消えません。だから、ミスしてはいけないという緊張感があるけど、見慣れない道具で作業するのはとても楽しいです。また、実際に加工した木材を組み立てていくとき、上手くはまるかどうかドキドキしながら作業したり、周りの人と協力しながら課題を作っていくため、完成したときのうれしさがとても大きいです。

専門教科って難しいの？

ー専門教科と聞くと難しそうですが、学習についていくのは大変ですか。

竹島 似てるけど名前が違ったり、構造によって違ったりするので間違いやすいですが、先生が丁寧に教えてくださるので、大変ではないです。但し、製図が授業内に終わらなかつたり、設計をするときに様々なことを考慮しないといけない事は大変です。

飯野 専門科目はとにかく覚えることが多いので大変です。中学生でも社会や理科で単語を覚えると思うのですが、それとは比べものにならないくらい大変だと思います。建築だと、今まで聞いたことがなかったような家の構造の話だったり、環境が建築物にもたらす影響など、初めて聞く単語や計算ばかりなので、今でも頭がパンクしそうになります。だけど、普通科では絶対に習わないことを勉強できることで、自分の家を建てたり、家を選ぶ時にこの知識があったら絶対に役に立つと思うので、勉強して損はないです。

どんな資格・検定を取得するの？

ーこれまでに取得した・取得を目指した資格や検定の中で、特に頑張ったものについて教えてください。

飯野 建築CAD検定3級です。

CADとは、JW_cadというソフトを使ってパソコンで製図

するものです。パソコンで製図を行うので操作を覚えるまで

は大変ですが、紙に書くよりもずっと楽なので楽しいです。

検定では1つの図面を書き上げる正確さを制限時間で評価されるので、毎日練習して、できるだけミスを減らせるように頑張りました。

どんな先生が教えて下さるの？

ー自慢の先生を教えてください。

竹島 実際に設計のお仕事をしていた先生が教えてくださいます。

飯野 建築類型の先生はみんな優しいし、授業もとても分かりやすいです。建築施工を教えてください先生は一級建築士の資格をもっているので、より詳しく建築のことを学べます。また、建築構造を教えてください先生は、授業が分かりやすいのはもちろん、授業外でも親身になって相談にのってくださいます。



どのように部活に取り組んでいるの？

ー所属している部活動について教えてください。また、頑張っていることを教えてください。

竹島 バドミントン部です。

効率よく練習を進めることや、楽しみながらでも上手くなるようにすることです。

飯野 陸上競技部です。

走りこみを頑張っています。私は陸上部だけど、特に足がもともと速いほうではないので、いつも必死に練習についていっています。ただついていだけでも自分の力にはならないと思うので、速い人を見ながら、どうしたら速くなるのか、日々頑張っています。

ー部活動と勉強の両立をどのように頑張っているのですか。

竹島 放課後に残って製図をやる時、大会が近かつたりする場合は部活を優先したり、かたよりすぎないように気をつけています。

飯野 運動した後に勉強するのは、正直しんどいから、なかなか部活と勉強の両立はできませんでしたが、私の場合は塾に通って無理やり勉強する場をつくっています。部活の後の勉強は眠いし、とても大変だけど、新しいことを覚えることは好きなので毎日両立を頑張っています。

中学生へメッセージ

竹島 建築工学科では、実際会社で使うソフトを使用しているため他の学校との差をつけることができます。

飯野 1番の魅力は、資格がとりやすいことや、普通科では学ぶことのできない知識を得られることだと思います。確かに難しいことが多いイメージですが、ものづくりはとても楽しいし、製図も提出などが大変だけど、やりきった達成感は半端ないです。ぜひ、建築工学科に来て、一緒に楽しく学びませんか！！

ーインタビューを受けてくださり、ありがとうございました。

平光・飯野 ありがとうございました。

インタビューを終えて

建築についての勉強に加え、自分の意欲次第で、CAD検定などの学習にも取り組めて、楽しそうな学科だと感じました。興味をもって貰えたら、是非、建築工学科を見学してみたいかがでしょうか。

この記事は令和4年12月時点の情報です。

作成：令和4年度 後期生徒会